

## 【ピリピ人への手紙 1章】

「キリストの福音にふさわしく生活なさい。」(ピリピ1：27)

この手紙は、獄中のパウロを支援したピリピの教会に対して、パウロの感謝の気持ちがあふれています。彼自身、厳しい裁判に直面していたにもかかわらず、**イエス・キリストにある喜び**に満たされていた事は驚くべきことです。人生における本当の喜びとは物質的な物や、楽しく快適な状況からくるものではないこと、神の愛を頂き、神がどんな時にも共にいて、確かに働いておられるという確信がパウロにあったのでしょ。また彼の関心は福音が宣べ伝えられる事です。

27節にはキリストの福音にふさわしく生活なさいとありますが、例えパウロの身に何が起ころうとも、キリストらしく生活するようにと勧めています。「あなたがたは霊を一つにしてしっかりと立ち、神のみ心にあつて心一つにして、福音を宣べ伝えるという目的に向かって、ともに奮闘しており、また、どんなことがあつても、反対者たちに驚かされることはない。それは、彼らにとっては**滅びのしるし**であり、あなたがたにとっては**救いのしるし**です。」と言っています。私達もまた、どんな境遇に置かれても、キリストらしく神様に聞き従い、魂の救いを追い求め、この為に分裂することなく一致して主の聖戦に勝利してゆきましょう。

今日は詩篇122：6に基づいて、エルサレムの平和の為に世界中で祈る日です。この「エルサレムの平和のために祈れ」Day of Prayer for Peace of Jerusalem (DPPJ)は、ジャック・ヘイフォード牧師が世界の教会に呼び掛けたものです。ゼカリヤ書 14章16～17節「毎年、万軍の主である王を礼拝し、仮庵の祭りを祝うために上ってくる。地上の諸氏族のうち、万軍の主である王を礼拝しにエルサレムへ上ってこない氏族の上には 雨が降らない。」

エルサレムで毎年礼拝することに特別な意味があり、特別な霊的祝福があります。預言どおりエルサレムを都として、散らされたユダヤ人が集められイスラエルが建国されました。エルサレムが聖書の中で最初に登場したのは、旧約聖書の創世記14：18「さて、シャレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒を持って来た。彼はいと高き神の祭司であった。」の、『シャレム』が最初のエルサレムの語源と思われます。また、エルサレムはイエス様が十字架にかかれ、復活し昇天された場所です。エルサレムのモリヤの山は、アブラハムが息子のイサクをささげた場所です。現在、黄金ドームがあるところ今後第3神殿ができます。都としてエルサレムは、特別な意味があります。かつては、第一神殿、第二神殿があった場所です。(神殿とは、神様が共におられるという意味があります。)11月からの新しい年もチームがイスラエルに派遣されますが、群れに於いて大きな祝福となります。共に祈りましょう。

(日本の孤児院養護施設：もう一つの候補地である会津磐梯山の周辺地域で昔から伝統的な囃子言葉に「スッチョ、スッチョ」とありますが、それはヘブライ語に直すと「勝利に向かって進め」という意味だそうです。)

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.10.7 No.704

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

**我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。**

ヨハネ3：34

「神がお遣わしになった方は、神のことばを話される。  
神が御霊を無限に与えられるからである。」



「エルサレムの平和のために祈れ。「おまえを愛する人々が栄えるように。  
おまえの城壁のうちには、平和があるように。  
おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。」詩篇122:6、7

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>